

令和八年度 熊本市子ども会育成協議会総会

市長挨拶

令和八年度 熊本市子ども会育成協議会総会の開催にあたりまして、一言、ご挨拶を申し上げます。

まずは、日頃から子どもたちの健やかな成長と、地域の子ども会活動の発展のためにご尽力いただいております会長をはじめ、役員の皆様、そして会員の皆様方に、心より感謝申し上げます。

また、本日表彰を受けられる皆様方には、心よりお祝いを申し上げますとともに、地域でこどもたちを見守り、支援してこられたご功績に対しまして、深く敬意と感謝の意を表する次第です。

さて、今年には熊本地震から十年という節目の年を迎えました。あの時、私たちは改めて、

日頃からの地域のつながりがどれほど大切であるかを実感いたしました。その「つながる力」は、決して一朝一夕に生まれるものではありません。日常の中で顔を合わせ、共に活動し、信頼関係を育んでいくことで培われるものです。子ども会活動は、まさにこうした地域のつながりを日常の中で育てている大切な場でもあります。こどもたちが地域で学び、遊び、支え合いながら成長していくことは、将来の地域を支える人材と絆を育む大切な営みです。

また、こどもたちにとって、地域に「自分の居場所がある」と感じられることは、安心や自信につながります。地震の経験を経た今だからこそ、このような居場所づくりの意義は、より一層大きくなっていると感じております。

本市では、こうした考えのもと、令和七年三月に「熊本市こども計画」を策定し、「こどもが輝き、若者が希望を抱くまち」の実現に向け、

取組を進めております。令和八年度は、「安全・安心な居場所と学びの場の提供」を重点取組の一つとし、地域で子どもたちを支える環境整備を進めてまいります。

今後のまちづくりにおいても、子ども会の果たす役割はますます重要になってまいります。引き続き、将来を担う子どもたちのため活動に対し、皆様方のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

最後になりましたが、熊本市子ども会育成協議会の今後益々のご発展と、本日お集まりの皆様のご健勝とご活躍をご祈念申し上げます。して、ご挨拶といたします。

令和八年六月七日

熊本市長 大西 一史

(代読 熊本市 文化市民局 市民生活部長

塚本 達也)